



2022年4月14日

各 位

会社名 株式会社 東京 衡 機  
代表者名 代表取締役社長 石塚 智士  
(コード番号 7719 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役管理本部長 石見 紀生  
(TEL. 042-851-6027)

## 特別損益の発生および業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2022年2月期連結会計年度において下記のとおり特別損益を計上いたしましたので、お知らせいたします。また、2021年4月14日に公表いたしました2022年2月期通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損益の発生およびその内容

##### (1) 特別利益の発生

###### ・ 固定資産売却益の計上

当社において保有しておりました新潟県長岡市の固定資産（賃貸不動産）を2021年11月に売却し、本年2月に中国連結子会社の無錫三和塑料製品有限公司において保有しておりました固定資産を売却したことに伴い、特別利益を計上いたしました。

(連結) 固定資産売却益 9百万円

##### (2) 特別損失の発生

###### ・ 中国連結子会社の出資持分譲渡

本年2月に中国連結子会社の無錫三和塑料製品有限公司の全出資持分(同社子会社である無錫特可思衡機貿易有限公司を含む)を他社に譲渡したため、連結決算上、関係会社株式売却損として特別損失を計上いたしました。なお、当社単体におきましては、既に当該出資持分について減損損失を計上済みであり、影響はございません。

(連結) 関係会社株式売却損 110百万円

###### ・ 固定資産除却損の計上

2021年9月に当社の本店を自社所有の不動産へ移転したことに伴い発生した固定資産除却損を特別損失として計上いたしました。

(連結) 固定資産除却損 3百万円

## 2. 業績予想数値と実績値の差異

### (1) 2022年2月期通期連結業績予想数値との差異 (2021年3月1日～2022年2月28日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	9,000	380	350	225	円 銭 31 55
実績値(B)	7,449	269	259	121	円 銭 17 04
増減額(B-A)	△1,550	△110	△90	△103	—
増減率(%)	△17.2	△29.0	△25.9	△46.0	—
(ご参考)前年同期実績 (2021年2月期)	8,321	340	324	303	円 銭 42 52

### (2) 差異の理由

2022年2月期通期連結業績予想につきましては、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前年同期および期初の予想を下回る結果となりました。これは、主に新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり国内各事業の売上が伸び悩んだことが要因で、とりわけ試験機事業において顧客企業の新たな設備投資や試験設備の改修が減少したことにより売上が減少したことが影響しております。

以 上